

令和5年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・パフォーマンステストの実施によってコミュニケーションへの関心・意欲を高めることができた。
- ・文脈にあった語形・語法の使い方の定着が見られ、基本的な文法事項の運用力が高まった。

(2) 課題

- ・与えられたテーマでの作文はできるが、場面に応じた表現を用いて作文する力が弱いいため表現の運用力を身に付ける必要がある。
- ・まとまった英語の文章を読み解く力を身に付けさせるのが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標を上回っている	/	/
第2学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第1学年時)	/
第3学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第2学年時)	目標を上回っている (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・基本的な語句や文の意味は概ね理解している。 ・文字や英単語を聞いて書きとる力を十分に身につける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・会話を聞いて概要を捉える力を付ける必要がある。 ・自分に関することについてさまざまなテーマで表現する力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・概要を捉えようとしたり、自己表現をしようとしているが、さらに積極的な姿勢が必要である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・語彙の知識は身に付いている。 ・語句の使われ方や並べ替えによる英作文の力はある。 ・定着した語句や表現を用いて書く力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・さまざまな会話を聞き取り、概要を掴む力はある。 ・場面に応じて英文を書く力を身に付けていくことが必要である。 ・まとまった英文を読み解く力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・内容を理解しようとする姿勢はよく見られる。 ・既習表現を適切に運用できる力が必要である。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・リスニングによる内容の理解・対話文の応答はできている。 ・語形や語法の理解が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・さまざまな英文を読み取り、その要点を捉える力はある。 ・場面に応じて英作文を書く力が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・自分のしたいことについて相手に伝わるように書こうとしている。 ・長文から必要な情報を読み取り、自分の意見を述べる力が必要である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや単元テストで。基本的な文法や語彙の定着を図る。 ・意味が分かるようになった文を音読・暗唱して表現力につながる知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動での対話練習を通じて、さまざまなテーマで表現する力をつける。 ・まとまった文を聞くときや読むときに、場面や状況を捉えているかどうか必ず確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動で日常生活に関する英問英答やスピーチを行い、積極的に表現する生徒を育てる。 ・ALT講師と少人数で対話を行い、概要を聞きとったり、既習表現を活用して話したりする機会を設ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で目標文を用いた作文を行い、書く力を伸ばしていく。 ・単語テストや単元テストの実施により、定着度合いを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初見の英文を読み解く機会を単元テスト等で定期的に行い、読解力を付けさせる。 ・テーマに基づいた英作文練習を行い、自分で流れに沿った英文を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT講師とのパフォーマンステストを行い、積極的に英語を話そうとする生徒を育てる。 ・授業ワークシートに各自で取り組む課題を出題し、英語の運用力を確認できるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 単元テストやスピーチの作文を通じて、既習の文法事項の定着を図る。・ 文の中から適切な語法・語形を認識できるように、定期考査をふくめて長文問題に重点を置く。	<ul style="list-style-type: none">・ 状況に応じた英語表現を身に付けるため、会話による対話練習と、既習の文法を活用した作文練習を積極的に取り入れる。・ ALT との対話を重視し、スピーキングテストに向けた対策を行う。	<ul style="list-style-type: none">・ 英語の歌を歌う活動により、英語を楽しく発話する下地を定着させる。・ 単元ごとに段階別の課題を設定し、生徒自らが課題を選んで取り組めるように計画する。